



2024年10月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日(月刊定価1部60円)
(購読料はYMCA会費に含まれています)
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 名古屋YMCA広報

YMCA News

10

日韓ユースセミナー

隣の国にできた友だち

ふるるんリーダー 北岡 彩音



今年度も日韓ユースセミナーが開催されました。ソウルYMCAと名古屋YMCAの交流は、新しい世代によって友好の絆を深めることを目的として、日韓国交正常化前の1963年より始まり、交互に訪問と受け入れ活動を続けてきました。今年度は8/19～8/23にソウルYMCAユースの皆さんが名古屋YMCAに来てくださり、5日間様々なプログラムを行いました。私は、8/19～8/21に名古屋YMCA日和田高原キャンプ場で行われたキャンプに参加しました。

1日目は、夕食の準備をしてソウルYMCAの皆さんを出迎えました。ドキドキの初めての会話も、手巻き寿司やたこ焼きなど美味しい日本食を囲んでとても盛り上がり、夕食後、名古屋YMCAの皆がキャンプソング「ね」を、ソウルYMCAの皆さんが「魚取り」「小動物園」という歌を互いに紹介し、一緒に歌いました。

2日目は、「相手のこと、自分のこと」というテーマで、数人ずつグループに分かれ、自分の好きなことや頑張っていること、将来の夢について話しました。また、相手の話を聞くことで、個人や互いの国の歴史や文化の理解を深め、認め合うきっかけになったと思

ます。その後、日本の自然を体験してもらうことを目的とし、枝や葉、石など使ったフォトフレームと全員の手形で色を付けた横断幕を作りました。協力してノコギリで板を切ったり、フォトフレームの裏に互いにサインをし合ったりしながら、個性豊かな作品たちが出来上がりました。午後は、日和田キャンプ場の水源地まで沢登りです。2時間以上の道のりも声を掛け合い登りきり、自然の恵みのありがたみや環境問題について考える機会となりました。夕食は、名古屋YMCAの皆が夏野菜カレーを、ソウルYMCAの皆さんがトッポッキ、プルコギ、チヂミを振る舞い、互いに感想を伝えながら、異なる食文化を楽しみました。夜にはキャンプファイヤーをしたり、星空を眺めて流れ星を探したり、韓国のお菓子やスイカを食べながら韓国の定番のゲームをしたりして、日和田キャンプ場での最後の夜を楽しみました。

この3日間を通して、互いの国の歴史や文化の違いに触れ、新たな気付きや学びを得ました。一方で、好きな音楽やアニメの話題で盛り上がったり、夜は部屋でカードゲームや折り紙を楽しみながらガールズトークに花を咲かせたりと、国境を越えても変わらない同世代との思い出を作ることができました。このセミナーで出会ったソウルYMCAの皆さんのことを、「元気になっているのかな」「また会いたいな」と考えることがあります。このように、一個人として互いを認め合い、対等な「友だち」になることが、未来のために私たちが今から出来ることであると強く実感するきっかけとなりました。このような機会を頂けたことにとても感謝しています。



日韓キッズワールドカップ in コリア



名古屋YMCAサッカークラスの子どもたちが、今年8月7日～11日の5日間、キッズワールドカップin 코리아に参加してきました！

成長した5日間

今回の大会には名古屋YMCA、東京YMCA混合チームでの参加となり初戦は皆慣れない環境に緊張しておりほとんど自分のプレーをすることができず、0-6の大差で負けてしまいました。その後の休憩時間に落ち込んでいるところを東京YMCAのお友だちがたくさん励ましてくれチームの雰囲気も良くなりました。その後の試合は東京YMCAのお友だちも一緒に作戦やポジションを考えたり、ディフェンスやシュート練習した

りしていく中で一つのチームとして戦うことができていました。その結果、大きいフィールドの中を一生懸命走る姿やボールに食らいつくプレー、3日目の試合ではシュートを決めるなど大きく成長することができました。

最後のバスでは一緒に戦った東京YMCAのお友だちと『来年また会おうね』とハイタッチして別れており、選手として技術面、精神面共に大きく成長した5日間になったように感じました。

(担当スタッフ 小島 陽)



子どもたちと韓国へ

今はスマホを覗けばなんでも知ることができる時代ですが、子どもたちにとって、実際に海外に行くことはやはり貴重な経験だと感じています。

現地に着くと話されているのは違う言語、知らない食べ物が目の前にあり、周りは初めての人ばかり…。でも子どもたちは、即、今ある環境に順応し、^{ひととき}一時も休むことなく楽しいことを探していました。「韓国語でサッカーはなんていうの？」新しい言葉にも興味津々、

食事は偏食なく毎食モリモリ食べて、そのおかげか？毎日元気に走りまわり、サッカーを通じてできた仲間の輪に自ら入っていき…たった数日間でしたが大きく成長しました。

非日常のひとつひとつのことがらは刺激的で、常に考える機会を与えられ、行動を後押ししてくれたからだと思います。

韓国への旅が子どもたちの心に深く刻まれ、ずっと大切な思い出となることを願っています。

(担当スタッフ 清水美佐子)

イベントのお知らせ

チャリティーゴルフ



本大会は次の3つの柱を支援目的として行います。

- ① 貧困児童対策として毎年行われる『学童キャンプ』
- ② 東日本大震災を忘れない ③ 留学生支援のために

参加者の皆様に3つの主旨を理解していただくよう努めるとともに、YMCAに関わる者同士、交流を深める場となれば幸いです。ぜひ同封チラシ掲載のフォームよりお申込みください。

日 時：2024年11月21日(木)8:30～

場 所：鈴鹿カンツリークラブ

対 象：YMCA会員および紹介者

大会商品として協賛品の募集も行っております。

クリスマスキャロル



今年も恒例のクリスマスキャロルを開催します。昨年度は昼の時間帯での開催、そしてお子様の参加を募り行われました。20年以上続く伝統の中で初めての試みで、委員会も不安とワクワクの気持ちでしたが、とても素晴らしい時間となりました。2024年度も引き続き子どもたちの楽しい歌声、そして本格的な四部合唱のキャロルを届けます。ぜひ一緒に歌いましょう！

日 時：2024年12月7日(土)14:30～15:10

場 所：名古屋駅タワーズガーデン

対 象：年中児～成人

詳細は同封のチラシをチェック！

総主事コラム

夜の虹 昼の星

開校7年目を迎えた名古屋YMCA日本語学院では、現在104名の学生が日本語を学んでいます。多国籍な学生はひとり一人その背景や学習目的が違いますが、夢の実現のために、慣れない外国で違う言語の習得に励んでいます。先日、学校の文化祭が行われましたが、彼らの共通言語は日本語。微妙な発音と文法が時折混ざりますが、学んだ日本語で上手にコミュニケーションをとっています。特技の発表場面では、得意の楽器を演奏したり、民族衣装に身を包み母国の踊りを披露したりする姿はとても誇らしげです。文化祭のテーマは“夜の虹、昼の星”「夜に虹は見えますか？ 昼に星は見えますか？」と語りかける司会者に対して、「見えません」と応える学生たち。「今は見えないけれども、確かに存在するものがあります。」

という結びには、夢を必ず実現させるのだという強い意志が感じられます。

一般に東アジアの国々の失業率は世界と比べて低いと言われていますが、隣国である韓国も中国も台湾も大企業への就職は超競争社会。入社後も厳しい競争が続きます。失業率が低いのは、小さな自営業を営んだり、就職を諦め進学や留学を選んだり、NEET (Not in Education, Employment, or Training) が増加しており失業者にかウントされないという厳しい現実もあります。大卒者の就職率もどんどん下降し、希望の会社に就職できず日本の大学で学び直し、日本の会社に就職したい留学生も確実に増えています。留学生の夢の実現を応援しながらも、内向き志向と言われる日本の若者がもっと世界に目を向けて、「Shohei」や「Mitoma」のように活躍することを願っています。

(中村 隆)

秋の国際協力募金

今年は1月1日に発生した能登半島地震に始まり、先日9月21日には輪島市を中心に発生した豪雨災害が発生しました。年始からの災害支援活動に落ち着きが見え始めた矢先の豪雨災害は、報道を通じて現地の様子を見聞きする私たちにも大きな衝撃を与えました。被災された方々の心と身体に与える痛みを思い、神様の導きを願うばかりです。

名古屋YMCAでは、能登半島の災害支援のために、また、海外における紛争の中で被害を受ける子供たちのために、2024年国際協力募金を実施いたします。YMCAの国際協力募金にご協力いただき、困難の中で過ごしている方々への支援にご協力をお願いします。

(担当スタッフ 万福寺 昭美)



募金期間：2024年10月～11月

募金口座：三菱UFJ銀行 きよなみ支店(804)

普通 1117999

ザイ)ナゴヤワイエムシーエー

維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年8月21日～9月20日)

維持会員

(継続) 船戸 章 水谷 克己 水谷 里美 木村真智子 荒川 恭次 荒川 恒子 加藤 満
山田 英次 相馬 静香 小尾 雅彦 小尾 昌代 近藤よし恵 榎田 勝利

寄付金・募金

(学童キャンプ支援) 川本 龍資 荒川 恭次 中條 秀和 坂口 公美 林 敦子 渡辺 真悟 藤田 瑠美
多湖みずほ 藤若 雪絵 堀 里美

(かみさわ保育園10周年記念基金) 平井 真希 渡邊 徹朗 宇佐美結音 磯部 徹 前田 果奈 千葉 萌子
渡辺 孝 浅野 猛雄 浅野美也子 三田村知里

(チャリティーラン) 義井 裕子 尾國 尚二 三木まゆみ 辻 恵子 福島 照 名古屋中ロータリークラブ
(青少年基金) 橋本 泰博

早天祈祷会

日時	10月1日(火) 7:45～8:30
会場	名古屋YMCA5F
奨励	熱田教会 小林 光牧師

ワイズコーナー 10月例会の予定

名古屋	10月8日(火) 19:00～	卓話「保険の話」 山川潔ワイズ	名古屋YMCA
名古屋東海	10月10日(木) 18:45～	卓話「タイトル未定」 講師：鈴木 将悟氏	ラ・スースアン
名古屋 グランパス	10月9日(水) 19:00～	未定	ZOOM

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」 (詩編133篇1節)